

令和1年11月26日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院眼科でTS-1°による涙道閉塞に対して涙管チューブ挿入術を施行し、通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学眼科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合、研究成果をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

当院における TS-1°による涙道閉塞に対する涙管チューブ挿入術の手術成績に関する後ろ向き研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学眼科学講座 講師 小門正英

3. 研究の目的

TS-1°内服による涙道閉塞に対する涙管チューブ留置手術の手術成績を詳細に検討することは術前患者さんへの説明時に手術の予後説明後説明だけでなく術式並び術後フォローを行う上で非常に有用な研究になると考えられます。

4. 研究の概要

(1)対象となる患者さん

和歌山県立医大附属病院眼科においてTS-1°内服による涙道閉塞を認め、2013年1月1日から2018年12月までの6年間の期間中に涙管チューブ留置手術を施行した患者約10人の患者さん。

(2)利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは術前涙道閉塞の程度、術前TS-1°内服期間、術後手術成績に関する情報です。

(3)方法

TS-1°内服による涙道閉塞に対し涙管チューブ留置手術を施行した患者さんのTS-1°内服期間、TS-1°内服原因疾患、臨床学的所見、臨床経過、涙道閉塞のグレード、留置完了率、術後流涙改善率の検討をおこない術後の予後を検討します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学眼科学講座 担当医師 小門正英

TEL : 073-441-0649 FAX : 073-448-1991

E-mail : kokado@wakayama-med. ac. jp